

WEEKLY 発売直前のバーチャファイター2を攻略!!

ファミコン通信

独占SCOOP!
サウンドノベルツクール

ファミ通だけの特選最新情報
ときめきメモリアル~伝説の樹の下で~
緊急速報 プレイステーション版
ポリスノーツ

95
12 8

320yen
大增ページ特別定価

スーパー
パードン
キー
コン
グ2

徹底
攻略

オフラインからボーナスステージまで解析率200パーセント



湾岸コースを疾走するためのバーチャルドライビング教則本
リッジレーサー
レボリューション

ドラゴンクエストVII 幻の大地★ガンハザード
バハムートラグーン★スーパーマリオRPG

NEW GAMES CROSS REVIEW

新作ゲームクロスレビュー

11月27日～12月3日

批評家

浜村通信



机の上のモニターのなかで、仲良しになった白イルカが泳いでいる。たまに「キューン」と甘えた声で、遊びに行こうとせがんでくる。「ゴメン、いま忙しいんだ」とあやまりながら、好きな音を出してやる。あ～、年末進行ですさんだ心が洗われる。『アクアノートの休日』。

羽田隆之



ビデオの1週間レンタルってのが流行りですが、どうにも考えものですな。1週間あるからまとめ借りしがち。するってえと、1日返し忘れると、まとめ借りしてるから巨額の延滞金を請求される。さらにそんなときに限って、糞おもしろくない映画借りてる3段オチ。

渡辺美紀



なーんにもしたくない日がある。そういう日に限って入稿日だったりするから始末が悪い。なんとかエンジンをかけようとがんばってはみるんだけど、なかなかうまくいかない。一発でやる気になる、そんな「ガソリン」ないかなあ……。じつは今日がその日だったりする。

ローリング内沢



またTGNG主催のゲーマーズナイトにいつてきました。不定期ですが西麻布のYELLOWというクラブでやってます。クリスマスイブにも開催されるということなので、ぜひ行きたいなと。しかも12月26日には渋谷オンエアでポリゴンジャンキーやるし、いまから楽しみ。

発売日

11月17日

キャプテン翼J THE WAY TO WORLD YOUTH

全日本 01-02 ユベリネ、01-16



作

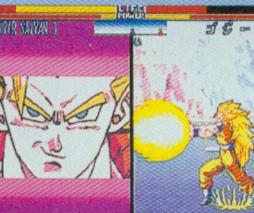
品

スーパーファミコンカートリッジ
バンダイ 9800円

人気アニメがサッカーゲームになった。試合は3Dタイプのフィールドで行なわれ、1対1の対決時には、ボタンの連打で相手を抜けるかどうかが決まるぞ。

11月17日

ドラゴンボールZ 真武闘伝

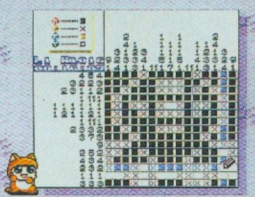


サターンCD-ROM
バンダイ 6800円

お馴染みの対戦格闘ゲームがサターンに登場。ストーリーモードや対戦モードに加えて、チームを組んで勝敗を競い合う団体戦モードが新たに加わった。

12月1日

おーちゃんの お絵かきロジック



スーパーファミコンパックアップカートリッジ
サンソフト 6980円

縦と横の数字をヒントにマス目を塗り、絵を完成させるパズルゲーム。300問のパズルを解くモードや、自由にパズルを作れるエディットモードが遊べる。

新しいシステムを開拓しようとしているゲームを遊ぶのは、とっても楽しいんだけどね。メイン画面を見て状況判断をしながら、コマンド選択をすくすく判断しつつ、その方向も決める。1アクションのなかで、一度に処理しないといけない情報が多すぎる。ちょっと無理があるかも。

流行りのチームバトルを採用したりして。ストーリーモードやらそと馬モードをつけたりなんかして。いろんな楽しませかたをさせつつも、基本は例のあの対戦格闘もの路線。離れての戦い、空中戦も、慣れた人には、驚くに値せず。でもコマンドのタイムラグは気になったりして。

『マリオ』がいかにもゲームっぽいアレンジなら、こちらは大まかにクイズを再現してる。そんなのに。対戦もほかの機種バージョンと違って、ちゃんと盛り上がるし、なによりエディット機能がうれしい。問題の強引さと、色帯の見にくさを割り引いても、チェックの価値あり。

漫画を読んでいると、ストーリー的にはかなり楽しめる作り。しかし、いざサッカーのプレーシーンになると、湾曲したフィールドが邪魔をして、勝手がわかるまでに時間がかかってしまう。カクカクしてるし。原作に対する思い入れの強さで、そんな壁は越えられるとも思えるが。

いわゆる基本技と豪快な技とのギャップがありすぎて、どうにもこうにも。基本的な技の応酬を踏まえてこそ、必殺技が活きるというもの。せつかくの広いフィールドなんだから、もっと自由に空を飛び回りたい。グラフィックのタッチはアニメそのものなので、原作の(以下省略)。

絵柄が完成してもなお、言われてみなければ何の絵柄なのかわからないあたりも含めて、他機種版と変わっていない。問題数が多いのでひとり遊びにも困らないかと思うが、いい感じなのは対戦モード。早いモン勝ちでパネルを奪い合う対戦方式で、かなり熱くなれる。没入、可。

いま何ができるかが表示されるのはいいが、とにかく攻守の入れ替わりが激しくそれを見ている余裕はない。メイン画面では大きすぎ、サブマップでは小さすぎて自分の位置がわからない。ボールを持ったととにかく走って適当なところで必殺シュート一連打。これがいいたいっす。

基本はいつもの格闘アクション。ただし、Mr. サタンモードや団体戦モードなど、サターンオリジナルの要素も豊富。何より登場キャラが27人もいるのは魅力。いつもどおりの必殺技ガードや投げられからの着地など、他の格闘ゲーにないコマンドも(全部覚えられれば)グッドだね。

少ないマス目の問題にはやっぱりムリがある。とくにエンゼルフィッシュ(笑)!! それはさておき対戦が楽しい。残念なのは点数にあまり意味がないこと。加算されて一発逆転ができたなら、さらに盛り上がったはず。じっくりと理詰めで考える楽しさが、やっとわかってきた私ですわー。

A、B、X、Yボタンそれぞれに対応した行動(シュートやパス、ブロックなど)があり、その行動というのは各選手によって異なる。試合中、目まぐるしく変化する画面表示。目押しが必要なほどの速さで、それは自分の思い通りに選手をコントロールしにくいほど。操作感覚に難。

スーパーファミコンの『超武闘伝』と同じ流れを組む格闘ゲーム。まえのもそうだったけど、相手の位置が把握しにくく、そのうえ行動範囲が広いのが攻撃的な戦闘になりにくいというのがマイチかと。賭けバトルができるサタンモードは一風変わって楽しめるんだけどね。

すでに発売されているサターン版と内容やシステムはほぼ同じ。ふたり対戦モードは、駆け引きが薄くやはり無理矢理気味なカンジ。しかし、問題を作成できるエディット機能はよい。けっきょく基本ができてるゲームだから、ようは問題量とグラフィックと付加価値のあるなしか。

そのほかに発売されるゲーム

サブ
シ
レ
イ
ヨ
イ

12月1日
発 売

REVERTHION テクノソフト 5800円 CD-ROM

動物をモデルにした日種類の自機から好きな機体を選び、ステージクリアーを目指すシューティングゲーム。遺跡や海底、渓谷などが戦闘の舞台だ。

12月1日

ブレイクスルー



プレイステーションCD-ROM
翔泳社 5300円

アレクセイ・バジトノフ監修のバズルゲームがグラフィックをパワーアップし登場。カラフルなブロックで作られた壁を、色別につぶしていくのが基本ルール。

ベースにあるのは、パソコンで大人気を集めた『さめかめ』。その、じっくりと考える詰め将棋の要素に、アイテムを使ってどんどん消していっちゃえという、爽快なアクション要素を追加。これがドキドキハラハラ。はまっちゃいました。ひさしぶりに、得点を競う楽しさを実感したぞ。

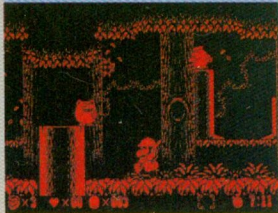
パズルの思考能力がどういった箇所に問われるのか見えない。僕に理由があるのかも見えないが、プレーしていて生理的快感に訴えかけられないのは、ちと辛い。脳味噌をフル回転しなければいけない状況で、なぜか思考停止するのが、自分でも謎。各難易度の差が激しすぎるのか。

これぞまさに暇潰しゲー。色のブロックの集まりをただクリックするだけで、異常なほどの時間があっという間に過ぎて。なんて恐ろしいゲームでしょう。ところで、クリア時に開く門。あの影に何か隠れてるとか、そーゆー演出があったら、もっとやる気も出るのに。あっさり。

同じ色のブロックをつなぎ合わせて消していく、パソコンの『鮫亀』のようなパズルゲーム。制限時間があってじっくり考えられないというのと、適当にボタンを連打していればクリアできてしまうので、とてもパズル的要素が薄い。悩まないパズルゲーム。淡々とした内容もツライ。

12月1日

バーチャルボーイワリオランド アワゾンの秘宝



バーチャルボーイバックアップカートリッジ
任天堂 4900円

人気キャラクター、ワリオが活躍するアクションゲーム。特定のアイテムを拾うと、固有の得意技を持つフルワリオやイーグルワリオなどに変身できるのだ。

ベースは、ゲームボーイの『ワリオランド』。その、3Dバージョン。3Dにする必要がゲーム性にあるかどうかは別にして、演出的には、従来のモノより一生懸命作っている印象は受ける。スーパーファミコンの『マリオ』、『ゼルダ』的役割を負うには役不足。期待が大きすぎたのかな。

驚いた。さすがだと思った。デモ部分は、立体視をアビールするべく機能している。ゲームはありがちな遠近2画面スクロールなのだが、1キャラクターに対して立体感を作り出したりする。内容は『スーパーマリオ』だけど、これは楽しい。夢になるから、目にくるのも早いかな。

「さすがは任天堂。このハードの使いかたをよくこ存じて」という感じ。手前側と奥側を上手に使ったプレーがじつに簡単に、そして自然にできる。もちろんアクションゲームとしても上出来。難易度もほどほどだし、面クリアごとにセーブされるのもウレシイ。ボスがちょい強か。

ベースはゲームボーイにあった『ワリオランド』。一般的な横スクロールのアクション。バーチャルボーイの立体という表示方法をうまく使ったマップと仕掛け。もともとよくできたアクションだけに、見た目も新鮮なのでなかなかよい出来だ。ゲームボーイよりもおもしろいかも。

12月1日

Dの食卓 -コンプリートグラフィックス-



プレイステーションCD-ROM
アクレイトジャパン 8800円

美しいグラフィックが特徴のアドベンチャーゲーム。プレイヤーは主人公ローラを操り、大量殺人の犯人である父の変貌の謎を解きあかすことになるのだ。

プレー時間が短いので、ポリゴンを期待したらムービーだったのだ、賛否両論あるが、新ジャンルでひとつの形を創出したことは、おおいに評価したい。今回はその、諸処の事情で入らなかったグラフィックを追加した、いわばディレクターズカット版。『D』未経験のかたは、コレで。

こういった画像の再生方式なのかは知りませんが、なんというキメ細やかな動画なんだろう。そう何度も何度もプレーしたりはしないかもしれないが、それでもこの雰囲気、映像美は味わう価値、十二分にあり。プレイヤーに何を伝えようとしているのか、本当によくわかる。

コンプリートと銘打つだけあって、光の加減やローラの洋服の動きなど、グラフィックはじつに美しい。内容は従来のものとまったく同じ。プレイステーションでもいよいよ『D食』(ファミ通では禁止略語)が遊べるワケ。個人的には対鉄仮面戦がサターン版よりシビアな気がしたが!?

サターン版よりも、グラフィックがキレイ。ゲームの内容、システムなどについてはまったく同じなので、またやったことない人ならプレーしてみる価値あり。美麗な絵と効果的なサウンドで恐怖感バツグン。ただ2時間くらいでクリアできるのでもコストパフォーマンスは低い。

12月1日

戦闘国家



プレイステーションCD-ROM
ソニーコンピュータエンタテインメント 5800円

イーグルやパトリオットなどの実在する最新兵器が多数登場するシミュレーションゲーム。兵器や歩兵を使用して、敵陣の首都を破壊、占領すると勝利だぞ。

ツールをめざしたコンセプトは、初期の『大戦略』が目指したところ。原点に戻りつつ、開発などの流行りも取り込み、「好きな人が作ったんだ」という香りを漂わせている。でも、あの戦闘映像は苦しい。かっこいいムービーが時間かけないとロードできないなんて、ちょっと……ねえ。

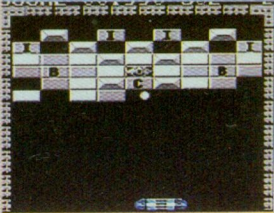
消耗戦が顕著な『大戦略』。戦闘をリアルモードで見ると、本当にカッコいいんだけど、その都度10秒以上読み込まれちゃうと、簡易モードでいいやって気分になってしまう。そうすると、このゲームの持ち味は失われてしまうのだが、ターン待ちの音楽が、いかにもパチンコ店内。

『大戦略』とは対照的にイベントもシナリオもなし。生産、侵略、占領をくり返す、戦闘のみを楽しむみたいシミュレーションのエキスパート向けのゲームなの。ただ、操作関係はユーザーフレンドリー。初心者でもその気があんなら十分やれる。戦闘時の映像データの読み込みには閉口。

強制的なイベントシーン、無理矢理なストーリーはいっさいなし。純粹なシミュレーション。登場兵器はすべて実名。迎撃システムの導入で理不尽なやられかたが減った。敷居は高くないけど、初心者にはイマイチとつきにくい。シミュレーションファンのためのゲームだと思う。

12月1日

ブロック くずしGB



ゲームボーイカートリッジ
パウ 3980円

対戦プレーも楽しめる『ブロックくずし』。ノーマルモードのほかに、ブロックが最終ラインを割るか、パドルがなくなるまで続くエンドレスモードが遊べる。

まま『アルカノイド』。すぐに遊べて、適当に熱くなれる。暇つぶしにピッタリ。さらに、対戦も熱い……けど、アイテムが敵の邪魔なのか、なんだか知らないウチに負ける、みたいな決まりかたが多かった。要素を詰め込みすぎたか。惜しい。操作性の悪さも、気になったぞ。

爽快さで言えば、スーパーファミコン版よりもいい感じで、これはどうしたことでしよう。目的があるから、淡々とした面構成でも先に進みたくなるという効果もあるとか。要所要所のボスは没個性しちゃってますが、相手の画面が見えないと、対戦時の緊迫感も薄らぐものですね。

ストーリーがテンポよく進むと、ついつい遊んでしまうから不思議だよね。定期的に登場するボスの存在もリズムを保っていいみたい。ゲームボーイ版の対戦は相手に攻撃ができるのだ。この点はスーパーファミコン版よりいいと思うなあ。ま、攻撃方法はどれも地味なだけだね。

スーパーファミコン版と較べるとかなりパワーダウン。グラフィックはもちろん、内容もシェイプアップされてアッサリ気味。レトロゲームの懐かしさを思い出して、かるく遊ぶ程度。のめり込むほどの要素は残念ながらない。ヒマ潰しにと思ってもなかなか潰れないのが正直なところ。

12月1日

スペースインベーダー
~バーチャルコレクション~バーチャルボーイカートリッジ
タイトル 4980円

名作シューティングゲームがバーチャルボーイに登場。立体的に表示された敵を撃ち落とすバーチャル3Dモードなど、3つのモードが用意されているのだ。

なんでコレを、バーチャルボーイにする必要があったのか。だって、もう完成されてるし、しかも完結されているソフトじゃない。3D仕様にするにあたって、何か必然性があればいいけど、ただ画面を斜めにされただけじゃなく、様子見のジャブとしか思えないんですけど。

あー。うー。なんつーか。そらゲームはオリジナルなんだけどさ。2Dモードで遊ぶならこのハードでなくてもいいし、3Dモードで遊ぶと1点透視図法のために、敵と自機とが一直線に並んでいるのがわかりにくいって理屈。プレーしにくくだけの構図なんだよなあ。わりと謎。

バーチャルボーイになってどう変わるのかと思いきや、斜めに立体的になって見にくくなっただけみたい。インベーダーの弾が斜めに飛んでくるのが致命的。避けづらく、被弾確率アープ。けっきょく2Dモードで遊んじやうから、バーチャルボーイの意味ないんだよね……。トホホ。

『インベーダー』が立体になっただけ。ただそれだけの話。初代『インベーダー』、『PART 2』と2種類のモードで遊べるが、けっきょくシステムは同じ。なぜバーチャルボーイでいままら、『インベーダー』。リメイクブームはあるけど、ただ立体的にしただけっていうのはツライなあ。

12月1日

野茂英雄の
ワールドシリーズ
ベースボールゲームギアカートリッジ
セガ 4800円

野茂英雄などの現役大リーガーが活躍する野球ゲーム。ドジャースをはじめとする12チームが用意されている。選手データは、最新のものを使用しているぞ。

オリンピック記念硬貨みたいな野球ゲーム。もとはといえば、なんてことはないフツウの『ファミスタ』型野球ゲーム。その選手欄にビデオ・ノモを入れ、ピッチングフォームを無理矢理トルネードに見せた。そんなもん。オールスター戦でノモを投げさせたりするのは楽しいけどさ。

投球面、強弱が付けられすぎている気が。残像が残るほどの豪速球ばっかり投げたり、30マイルの超スローボールを投げたり。外野に球が飛ぶと感じるんだけど、小さい画面前だからチマチマしちゃうのは、やむを得ないか。野茂選手が、あからさまにいい投手に仕上がってます。

ギアの小さな画面でも、なんとかトルネード投法は見分けれられる。操作方法にも無理がなく、球場も適度な大きさ。無難にまともになっているところでしょうか。ただ、野茂がいるから何とかもってるが、ぶつうは大リーグの選手は知らんよなあ。ドジャース以外選はないと思う。

野茂人気便乗ソフトかな、これは。システム的には『ファミスタ』系、とくに特出した部分はない。といって、よくできているかという失礼ながらそうでもなく、昔のパソコンの野球ゲームみたい。チマチマしたキャラがチマチマと動き回る。あんまり野茂はゲームに関係ないし。

12月3日

リッジレーサー
レボリューションプレイステーションCD-ROM
ナムコ 5800円

人気レースゲームがパワーアップして帰ってきた。コースが新しくなっているほか、対戦ケーブルを使うことで、通信対戦プレーを楽しむこともできるのだ。

グラフィック的には、細かいところでいろいろクオリティアップしてるんだけど。看板とかの装飾が派手でマニアックなギミックに気づくくらいで、シロート目にはかわんないんじゃないかな。前のができすぎだったから。通信で対戦ができちゃう。やっぱり、コレがすべてでしょ。

オリジナルのコース&マシンで、ネオな『リッジ』。通信対戦は実感に乏しいし、条件が揃わないとなかなか難しいと思うけど、ありがたい機能ですわな。繋げると特別なこともできるみたいだし。ウイニングランがとことん気持ちいい上に、なんとまあキレイな海面が拝めることか。

前作でできたことは、すべてできる。ゴキブリカーもできるしミラーモードもある。新コースはみとれちゃうほどキレイな景色。BGMは相変わらずかっこいい。それに加えてさまざまなマイナーチェンジもあり。ウリであると思われる通信対戦が少タイムバクト不足なのが残念だよなあ。

コースがすべて新しくなっているので前作の『リッジ』を抱えるほどヤリこんだ人でも安心して遊べる。すべてプレイステーション版だけのオリジナルコースなので、続編というよりも別のゲームだ。しかもナムコゲーにおなじみのいろんな小技も効いている。そんで通信。最高っす。

Best Picks
of
This Week

今週は各ハードを代表するような大物ゲームが続々発売され、クロスレビューは近年希に見る大満点大会になったのでした。けっこう壮観でしょ？ みんなもそれに合わせてゲーム買ったりハード買ったりゲーム買ったりたいへんだね。

今週は10年に一度の大収穫!! 『リッジレーサー』、『バーチャ2』は、期待以上のデキ。買おうかどうか迷ってる人は、考えること自体が時間の無駄。予算の都合をつけ、ぜひとも手に入れなさい。さらに『シレン』。これまた予想をはるかにぶつちぎり。『トルネコ』のタグがはずれて、自由な世界を構築。これが最高のデキ。一生遊べそうな気分。ファミ通でも、魂吸い取られ状態の編集者続出。RPG初の禁止ソフトが出るかも。あと未経験者は『D』。『D』通過はゲーマー必須の儀式だ。

僕なりの'95年の年末は、「この冬ゲームがおもしろい」というキャッチフレーズでいかせていただいております。飲みに出掛けてボラれたり、お姉ちゃんに貢いだり、二セモノのガラフタに大枚はたいたりするなら、本物の良質ゲームで遊ぶほうが数倍マシ。今回のラインナップで言及しておきたいのは、やはり『バーチャ2』でしょうか。実際のところ評価は分かれるんだと思います。しかし家庭でこうしたゲームが遊べることを考えれば、重箱の隅をついても……、って気分。

なななんと、今週は3本も10点があるのだ〜。年に1回あるかないかの満点を3つもつけることになるうとは……。自分でもビックリなのだ。そんなワケで当然今週のオススメはこの3本。所持ハードに合わせてお買い求めください……なんてことは言わないぜ〜。ハードを持ってない人はこれを機に買ってください。ってわけで『風来のシレン』、『バーチャ2』、そして『リッジレーサー』レボリューション(略語はないの?)が今週の、そしてもしかしたら今年のオススメなんだよな〜。

3つのゲームに10点付けてます。スーパーファミコンとサターンとプレイステーションと、それぞれのハードのゲームに。とりあえずこの3本は買ってソフはないと思う。とくにゲームセンターからの移植作でもないオリジナルゲーム、『風来のシレン』。これは一度でいいからプレーしてほしい。いろいろな楽しみかたができるゲームです。苦労して育てたシレンがやられたときのショックは相当のもの。いかに劇的に死ぬかつつーのも、このゲームの隠れた楽しみかたでもあります。

※価格の後に[込]マークがついているものは消費税込みの商品価格、価格のみを表しているものは消費税別の商品価格です。※このコーナーでの評価は、サンプル版(ほぼ完成に近いもの)を使用しています。サンプル版が入手できなかったゲームについては、欄外での紹介にとどめ、評価は後の号に掲載します。※数字は10点満点の総合評価です。